全国漁業信用基金協会 富山支所



1 富山県の紹介

富山県は、本州日本海側の中央に位置し、東西南の三方を急峻な山々に囲まれ、深い湾を抱くように平野が広がっています。コンパクトな形状ながら、標高3,000 m級の立山連峰をはじめとした北アルプスから、水深1,000mをこえる富山湾に至るまで、高低差4,000mのダイナミックで変化に富んだ地形が特徴となっています。面積は4,247km、人口は98万人台で、概ね全国の1%程度となっています。

県内には、黒部ダムや立山黒部アルペンルート、五箇山の合掌造り集落をはじめ様々な観光名所があり、国内外から観光客が訪れています。



岩瀬浜と立山連峰(写真提供:(公社)とやま観光推進機構)

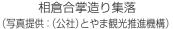
さらに、今年1月にニューヨーク・タイムズ紙が発表した「2025年に行くべき52か所」に富山市が選出されました。「混雑を避けながら、文化的な感動や美食を楽しめる」街と評価され、記事で紹介された「富山市ガラス美術館」などの観光スポットや飲食店はこれまで以上に観光客でにぎわっています。





部ダム みくりが池 (写真提供:(公社)とやま観光推進機構)







富山市ガラス美術館(写真提供:富山市観光協会)

2 富山県の水産業

富山湾は、駿河湾、相模湾と並び、日本を 代表する深さを持つ急峻な湾で、沿岸部に は、深い藍色をした「あいがめ(藍瓶)」と 呼ばれる海底谷が複雑に発達しています。

富山湾は、豊かな土壌の栄養分をたっぷり 含んだ河川水が流れ込む表層部、対馬暖流が 流れる中層部、水深300mより深いところに ある冷たい日本海固有水(海洋深層水)が流 れる深層部の3層構造になっています。この 構造のおかげで、日本海に分布する約800種 類の魚介類のうち約500種類が生息する富山 湾は「天然のいけす」と呼ばれるほど、水産 資源が豊富な状況となっています。

古くから定置網漁業が盛んで、対馬暖流系の回遊性魚類(ブリ類、イワシ類、スルメイカ等)やホタルイカが漁獲されています。





ホタルイカ漁 シロエビ漁 (写真提供:(公社)とやま観光推進機構)

中でも、氷見の定置網漁業は令和3年2 月に日本農業遺産に認定されました。400 年以上の歴史ある伝統的な定置網漁業は、 環境にやさしい持続可能な漁業として評価 されています。

定置網漁業以外では、小型底びき網漁業で 主にシロエビなど、かごなわ漁業でベニズワ イガニやバイ類などが漁獲されています。

県が認定する「富山県推奨とやまブラン





氷見鰤

ホタルイカ





シロエビ 高志の紅ガニ (写真提供:(公社)とやま観光推進機構)

新湊漁協の届ヤリ

(写真提供:(公社)とやま観光推進機構)

ド」には、富山湾の「ブリ」「シロエビ」 「ホタルイカ」「高志の紅ガニ(ベニズワ イガニ)」といった海産物のほか、「ます 寿し」「かぶら寿し」「ほたるいかの沖漬 け・醤油漬け など多くの水産加工品が名 を連ねています。

富山県は、定置網をしかける漁場が港か ら近いこともあり、水揚げされた魚はすぐ に市場に並び「きときと(新鮮な) | 状態 で出荷されています。新湊漁港では、早朝 のセリのほか、全国的に珍しい昼セリが行 われており、事前予約により見学すること ができます。

現在富山県では、官民一体となって「寿 司といえば、富山」をPRし、認知度向上や ブランディングを推進しています。





「寿司といえば、富山」 ロゴマーク

3 富山支所の概要

●住 所:富山市舟橋北町4番19号 ●会 員 数:59会員

●電 話 番 号: 076-441-6127

●全国協会理事: 臼田 知己

●運営委員長:池田 文也

(富山県森林水産会館5階) ●出 資 総 額:551,450千円(令和7年3月末現在)

●保証残高:1,403,100千円(令和7年3月末現在)

●常勤役職員数: 3名

4 富山支所の取組

富山県の漁業を取り巻く環境は、漁業就 業者の減少や高齢化に加え、物価高騰を背 景とした燃料や資材価格の値上がり、能登 半島地震の影響によるシロエビやベニズワ イガニ等の不漁など、先行き不透明な状況 が続いております。

このため当支所では、これまで以上に、 漁業者にとって必要な資金が円滑に調達さ れるよう、県や系統団体、金融機関と連携 して保証の推進に取り組み、富山県の漁業 の振興に努めてまいります。

併せて、今年6月本所理事会で決定され た、今後5年以内を目標とする支所統合の 早期実現に向け、北陸4県スクラムを組ん で、積極的に取り組んでいきたいと考えて おります。